

個・台の重量換算係数の設定方法について

電子マニフェスト情報の『個・台』の数量については、以下の2つの方法により、トン数に換算するための係数（個・台の重量換算係数：別紙参照）を設定しています。

1．平成18年度電子マニフェスト登録実績から設定

平成18年度電子マニフェスト登録実績を対象に、排出事業者が「個・台」の単位で登録しているが、処理業者が重量（確定数量）で登録されているデータ約3,000件をもとに、最頻値（モード）から設定。

2．事業者等からのヒアリングにより設定

登録されている代表的な廃棄物名称における運搬容器あるいは保管容器の容量等の実態を排出事業者、処理業者、業界団体等にヒアリングして設定。

個・台の重量換算係数の設定一覧

別紙

大分類	中・小分類	換算値	備考
燃え殻		0.228t	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数) = 228kg = 0.228t
	焼却灰	0.228t	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数) = 228kg = 0.228t
	石炭灰	8t	ヒアリングの結果、10:車のトラックにて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 10:車の平均積載重量 8t
	廃棄物の焼却灰	0.228t	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数) = 228kg = 0.228t
	廃カーボン・活性炭	1.14t	ヒアリングの結果、1m3のフレコンバックで保管・運搬されているケースが一般的なため、次のように設定した。 1m3×1.14(燃え殻の重量換算係数) = 1.14t
汚泥(泥状のもの)		0.022t	ヒアリングの結果20リットルのバケ缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数) = 22kg = 0.022t
	有機性汚泥	0.022t	ヒアリングの結果20リットルのバケ缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数) = 22kg = 0.022t
	下水汚泥	8t	ヒアリングの結果、10:車のトラックにて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 10:車の平均積載重量 8t
	無機性汚泥	0.022t	ヒアリングの結果20リットルのバケ缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数) = 22kg = 0.022t
	建設汚泥	8t	ヒアリングの結果、10:車のトラックにて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 10:車の平均積載重量 8t
	上水汚泥	8t	ヒアリングの結果、10:車のトラックにて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 10:車の平均積載重量 8t
廃油		0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 18リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg 0.016t
	一般廃油	0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 18リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg 0.016t
	鉱油性油	0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 18リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg 0.016t
	植物油	0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 18リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg 0.016t
	廃溶剤	0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 18リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg 0.016t
	固形油	0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 18リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg 0.016t
	油でい	0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 18リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg 0.016t
廃酸		0.025t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数) = 25kg = 0.025t
	写真定着廃液	0.025t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数) = 25kg = 0.025t
廃アルカリ		0.023t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数) = 23kg = 0.023t
	写真現像液	0.023t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数) = 23kg = 0.023t
廃プラスチック類		0.35t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数) = 0.35t
	廃タイヤ	0.007t	平成18年度実績データから設定(データ数514)
	自動車用プラスチックバンパー	0.007t	ヒアリングの結果、車両のバンパー重量平均値から設定 1個 7kg = 0.007t
	廃農業用ビニール	3t	ヒアリングの結果、4:車のトラックにて運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 4:車の平均積載重量 3t
	プラスチック製廃容器包装	0.35t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数) = 0.35t
	発泡スチロール	0.35t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数) = 0.35t
	発泡ウレタン	0.35t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数) = 0.35t
	発泡ポリスチレン	0.35t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数) = 0.35t
	塩化ビニール製建設資材	0.35t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.35(廃プラスチック類の重量換算係数) = 0.35t
紙(ず)		0.3t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.3(紙(ず)の重量換算係数) = 0.3t
	建設工事のダンボール	0.3t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.3(紙(ず)の重量換算係数) = 0.3t
	ダンボール	0.3t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.3(紙(ず)の重量換算係数) = 0.3t
木(ず)		0.55t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.55(木(ず)の重量換算係数) = 0.55t
	建設工事の木(ず)	0.55t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.55(木(ず)の重量換算係数) = 0.55t
	伐採材・伐根材	0.55t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.55(木(ず)の重量換算係数) = 0.55t
繊維(ず)		0.12t	ヒアリングの結果1m3のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なため次のように設定した。 1m3×0.12(繊維(ず)の重量換算係数) = 120kg = 0.12t
	建設工事の繊維(ず)	0.03t	ヒアリングの結果、建設工事の繊維(ず)は一般的に量なので、次のように設定した。 量1枚の重量 30kg = 0.03t
動植物性残渣	0.2t	ヒアリングの結果200リットルのドラム缶に保管・運搬しているケースが一般的なため、次のように設定した。 200リットル×1(動植物性残渣の重量換算係数) = 200kg = 0.2t	

個・台の重量換算係数の設定一覧

別紙

大分類	中・小分類	換算値	備考
動物系固形不要物		0.2t	ヒアリングの結果200リットルのドラム缶に保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 200リットル×1(動植物性残渣の重量換算係数) = 200kg = 0.2t
ゴムくず		0.52t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.52(ゴムくずの重量換算係数) = 0.52t
金属くず		0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.52(ゴムくずの重量換算係数) = 0.52t
	鉄くず	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.52(ゴムくずの重量換算係数) = 0.52t
	非鉄金属くず	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.52(ゴムくずの重量換算係数) = 0.52t
	鉛製の管又は板	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.52(ゴムくずの重量換算係数) = 0.52t
	電線くず	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.52(ゴムくずの重量換算係数) = 0.52t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	ガラスくず	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	カレット	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	廃ブラウン管(側面部)	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	ガラス製廃容器包装	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	ロックウール	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	石綿(非飛散性)	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	グラスウール	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	岩綿吸音板	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	陶磁器くず	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	コンクリートくず	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	石膏ボード	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	AIC(軽量気泡コンクリート)	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ ×1(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
鋳さい		8t	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 10t車の平均積載重量 8t
	スラグ	8t	ヒアリングの結果、10t車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 10t車の平均積載重量 8t
がれき類		1.48t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1.48(がれき類の重量換算係数) = 1.48t
	コンクリート破片	1.48t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1.48(がれき類の重量換算係数) = 1.48t
	アスファルト・コンクリート破片	1.48t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1.48(がれき類の重量換算係数) = 1.48t
動物ふん尿		0.2t	ヒアリングの結果200リットルのドラム缶に保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 200リットル×1(動物のふん尿の重量換算係数) = 200kg = 0.2t
動物の死体		0.08t	最も飼育数の多い肥育豚を対象とし、肥育豚の中央値(堆肥化施設設計マニュアルを参照)から算出。
ばいじん		1.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1.26(ばいじんの重量換算係数) = 1.26t
処分するために処理したもの		0.2t	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて固化して保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 200リットル×1(処分するために処理したものの重量換算係数) = 200kg = 0.2t
建設混合廃棄物		0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数) = 0.26t
	安定型建設混合廃棄物	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数) = 0.26t
	管理型混合廃棄物	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数) = 0.26t
	新築系混合廃棄物	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数) = 0.26t
	解体系混合廃棄物	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数) = 0.26t
安定型混合廃棄物		1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1(廃電気機械器具等の重量換算係数) = 1t
管理型混合廃棄物		1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1(廃電気機械器具等の重量換算係数) = 1t
シュレターダスト		1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1(廃電気機械器具等の重量換算係数) = 1t
石綿含有産業廃棄物		1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1(大分類区分のため重量換算係数を1とした) = 1t
	建設混合廃棄物	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×0.26(建設混合廃棄物の重量換算係数) = 0.26t

個・台の重量換算係数の設定一覧

別紙

大分類	中・小分類	換算値	備考
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した 1m ³ × 1 (ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの重量換算係数) = 1t
	廃プラスチック類	0.35t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ × 0.35 (廃プラスチック類の重量換算係数) = 0.35t
	がれき類	1.48t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ × 1.48 (がれき類の重量換算係数) = 1.48t
	紙くず	0.3t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ × 0.3 (紙くずの重量換算係数) = 0.3t
	木くず	0.55t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ × 0.55 (木くずの重量換算係数) = 0.55t
	繊維くず	0.12t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ × 0.12 (繊維くずの重量換算係数) = 120kg = 0.12t
廃自動車		1.3t	ヒアリングの結果、乗用車の平均重量から設定した。 1台 1.3t
	廃二輪車	0.2t	ヒアリングの結果 250cc ~ 400cc のバイクの平均重量から設定 1台 200kg = 0.2t
	バイク	0.1t	ヒアリングの結果、原付バイクから125CCのバイク平均重量から設定、1台 100kg = 0.1t
	自転車	0.015t	ヒアリングの結果、自転車の平均重量から設定。 1台15kg = 0.015t
廃電気機械器具		0.01t	実績データで最も多く登録されていたOA機器の平均重量から設定した。 10kg = 0.01t
	廃パチンコ機及び廃パチスロ機	0.03t	ヒアリングの結果、パチンコ及びパチスロ機の平均重量から設定 1台 30kg = 0.03t
	プリント配線板	0.03t	ヒアリングの結果、30リットルのポリ容器に保管・運搬しているのが一般的なので、次のように設定した。 30リットル × 1 (廃電気機械器具等の比重) = 30kg = 0.03t
	テレビジョン受信機	0.03t	ヒアリングの結果、ブラウン管テレビの平均重量から設定した。 1台 30kg = 0.03t
	エアコンディショナー	0.04t	ヒアリング結果、室内機と室外機の平均重量から設定した。 1台 40kg = 0.04t
	冷蔵庫	0.1t	ヒアリングの結果、冷蔵庫の平均重量から設定した。 1台 100kg = 0.1t
	洗濯機	0.05t	ヒアリングの結果、洗濯機の平均重量から設定した。 1台 50kg = 0.05t
	電子レンジ	0.015t	ヒアリングの結果、電子レンジの平均重量から設定した。 1台 15kg = 0.015t
	パーソナルコンピュータ	0.005t	ヒアリングの結果、デスクトップとノートパソコンの平均重量から設定した。 1台 5kg = 0.005t
	電話機	0.003t	ヒアリングの結果、電話機の平均重量から設定した。 1台 3kg = 0.003t
	自動販売機	0.35t	ヒアリングの結果 自動販売機の平均重量から設定した。 1台 350kg = 0.35t
	蛍光灯	0.001t	ヒアリングの結果、蛍光灯は10本1組として運搬するのが一般的なので、10本分の重量を設定した。 1kg = 0.001t
	冷凍庫	0.04t	ヒアリングの結果、冷凍庫の平均重量から設定した。 1台 40kg = 0.04t
	廃電池類		0.01t
鉛蓄電池		0.01t	ヒアリングの結果、一番多い(排出される)小型自動車のバッテリーの重量から設定した。 1台 10kg = 0.01t
乾電池		0.01t	ヒアリングの結果、一番多い(排出される)小型自動車のバッテリーの重量から設定した。 1台 10kg = 0.01t
複合材	0.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ × 0.26 (建設混合廃棄物の重量換算係数) = 0.26t	
燃えやすい廃油		0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 18リットル × 0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg = 0.016t
	燃えやすい廃油 (基準値を超える有害物質を含むもの)	0.016t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 18リットル × 0.9(廃油の重量換算係数) = 16.2kg = 0.016t
ph2.0以下の廃酸		0.025t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル × 1.25(廃酸の重量換算係数) = 25kg = 0.025t
	ph2.0以下の廃酸 (基準値を超える有害物質を含むもの)	0.025t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル × 1.25(廃酸の重量換算係数) = 25kg = 0.025t
ph12.5以上の廃アルカリ		0.023t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル × 1.13(廃アルカリの重量換算係数) = 23kg = 0.023t
	ph12.0以下の廃アルカリ (基準値を超える有害物質を含むもの)	0.023t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル × 1.13(廃アルカリの重量換算係数) = 23kg = 0.023t
感染性廃棄物	0.007t	平成18年度実績データから設定 (データ数:19)	
特定有害産業廃棄物		0.018t	ヒアリングの結果18リットルの一斗缶で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 18リットル × 1 (特定有害産業廃棄物の重量換算係数) = 18kg = 0.018t
	廃PCB等・PCB汚染物・PCB処理物	0.1t	ヒアリングの結果、廃PCBとして代表的なトランス、コンデンサーの平均重量から設定した。 1台 100kg = 0.1t
	廃PCB	0.1t	ヒアリングの結果、廃PCBとして代表的なトランス、コンデンサーの平均重量から設定した。 1台 100kg = 0.1t
	PCB汚染物	0.02t	ヒアリングの結果、20リットルの容器に保管・運搬されるのが一般的なので、次のように設定した。 20リットル × 1 (多種多様のため、廃棄物の比重を1とした) = 20kg = 0.02t
	PCB処理物	0.02t	ヒアリングの結果、20リットルの容器に保管・運搬されるのが一般的なので、次のように設定した。 20リットル × 1 (多種多様のため、廃棄物の比重を1とした) = 20kg = 0.02t

個・台の重量換算係数の設定一覧

別紙

大分類	中・小分類	換算値	備考
	廃石綿等(飛散性)	0.009t	ヒアリングの結果、30リットルの袋で保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 30リットル×0.3(廃石綿等の重量換算係数) = 9kg = 0.009t
	指定下水汚泥	8t	ヒアリングの結果、10:車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 10:車の平均積載重量 8t
	鉱さい(基準値を超える有害物質を含むもの)	8t	ヒアリングの結果、10:車のトラックにて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 10:車の平均積載重量 8t
	燃え殻(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.228t	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 200リットル×1.14(燃え殻の重量換算係数) = 228kg = 0.228t
	廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.018t	ヒアリングの結果20リットルのベール缶で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル×0.9(廃油の重量換算係数) = 18kg = 0.018t
	汚泥(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.022t	ヒアリングの結果20リットルのベール缶で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル×1.1(汚泥の重量換算係数) = 22kg = 0.022t
	廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.025t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル×1.25(廃酸の重量換算係数) = 25kg = 0.025t
	廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.023t	ヒアリングの結果20リットルのポリ容器で保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 20リットル×1.13(廃アルカリの重量換算係数) = 23kg = 0.023t
	ばいじん(基準値を超える有害物質を含むもの)	1.26t	ヒアリングの結果1m ³ のフレコンバックで保管・運搬しているケースが一般的なので次のように設定した。 1m ³ ×1.26(ばいじんの重量換算係数) = 1.26t
	処分するために処理したもの(基準値を超える有害物質を含むもの)	0.2t	ヒアリングの結果、200リットルのドラム缶にて固化して保管・運搬しているケースが一般的なので、次のように設定した。 200リットル×1(処分するために処理したものの重量換算係数) = 200kg = 0.2t